

クライアント端末の OS 分離ソリューション Hysolate が わずか数分で大規模展開可能な Hysolate Workspace となり販売開始 ～ テレワーク、BYOD、社内端末における OS 分離を実現 ～

2021 年 4 月 6 日
株式会社アズジェント
(JASDAQ・コード番号 4288)

セキュリティ及び SOC サービスの提供を主業務とする株式会社アズジェント（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：杉本隆洋、JASDAQ：4288、以下、アズジェント）は、Hysolate, Ltd.（ハイソレート 所在地：イスラエル CEO& Board Member: Marc Gaffan 以下、Hysolate 社）の OS 分離ソリューション「Hysolate」が進化した「Hysolate Workspace」の販売を開始いたします。なお、Hysolate Workspace は、Interop Tokyo 2021 のリアル開催（2021 年 4 月 14 日～4 月 16 日：幕張メッセ）アズジェントブース（3U15）及び、オンライン開催（2021 年 4 月 19 日～4 月 23 日）弊社サイトに展示されます。

【背景】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、テレワークが一気に加速しました。これを機にテレワークへの完全移行を図った組織もあり、テレワークは一般的な業務・勤務形態の一つになりつつあります。

しかしながら、テレワークを行うには、社内ネットワーク同様のセキュリティを確保しつつ、利便性、操作性を維持することが求められます。また、ゼロトラストモデルを実現する上では、クライアント端末が信頼できるクリーンなデバイスであることが必須条件となります。多くの組織が VDI、DaaS、仮想ブラウザなど様々な仮想端末ソリューションを検討・導入していますが、セキュリティと利便性の両方を満たすソリューションがなく、また導入が大変で展開に時間を要することが課題でした。

【Hysolate Workspace】

従前の Hysolate はクライアント端末にハイパーバイザをインストールして、管理者が用意した仮想 OS を並列稼働させることで OS 分離を実現していました。Hysolate Workspace は、クライアント端末のホスト OS を維持して、分離されたワークスペース OS を自動で作成し、さらにクラウドで一元管理できます。中継サーバの構築が不要で、高度な専門知識を必要とすることもなく、クライアント端末に、必要な業務アプリケーションをインストールした新たな OS 空間をわずか数分で大規模展開できます。

ホスト OS とワークスペース OS はカーネルレベルで分離されているため、万一、ワークスペース OS にマルウェア感染のようなセキュリティ侵害が生じて、ホスト OS の重要データの漏洩につながることはありません。フィッシング攻撃、アプリケーションや OS の脆弱性を突く攻撃、なりすまし攻撃など、様々な攻撃からホスト OS を保護でき、クリーンな状態を維持できます。

利便性の観点では、VDI、DaaS、仮想ブラウザなどの従来型仮想端末ソリューションの課題であった、ウェブ会議を始めとするアプリケーションやスキャンデバイスが利用できないなどの制限、低帯域ネットワーク環境での動作遅延を解消できます。また、ユーザの使いやすさを考慮した設計になっており、OS の切り替えはショートカットキーで画面切り替えができます。その際、クラウドの管理コンソールで設定した組織のポリシーに沿って、テキストやファイルの OS 間でのコピー制御も可能です。

IT 管理者は、例えば一部のユーザにはワークスペース OS に管理者権限を付与して自由度を上げ、その他の部門のユーザには指定したビジネスアプリケーションの利用のみに制限するなど、部門や役割、接続環境に応じて柔軟に企業ポリシーに合わせることができます。Hysolate Workspace は、①テレワークにおけるセキュアアクセス環境、②個人領域と仕事領域を分離した BYOD 環境、③クローズドネットワークとインターネット接続のネットワーク分離環境などで利用でき、また 1 つのライセンスで前述の①～③のような利用シーンを組み合わせた使用もできる便利なソリューションです。

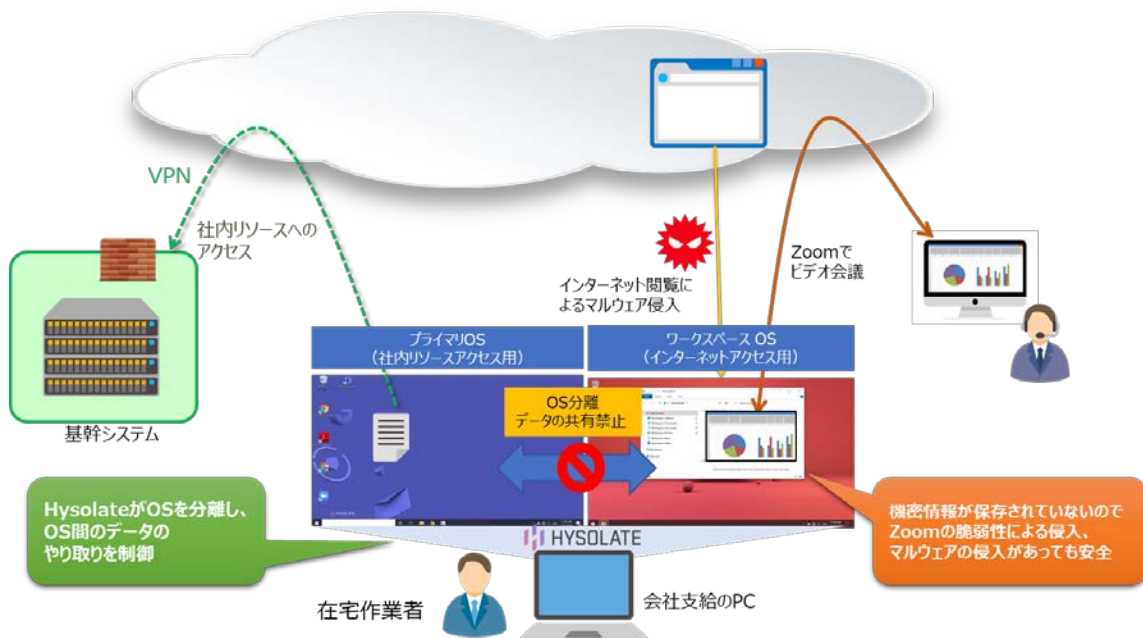
【他の端末仮想化製品にはない Hysolate のメリット】

- ワークスペース OS がマルウェア感染などのセキュリティ侵害にあっても、ホスト OS の重要データの漏洩を阻止
- クラウド管理で規模を問わず容易に展開できるため、テレワーク環境の構築を素早く実現
- 中継サーバや追加 OS ライセンスが不要なため、運用が簡単でトータルコストの圧縮も可能
- BYOD において、個人端末上での利用が制限されていた企業アプリの実行を許可でき生産性が向上

【利用シーン例】

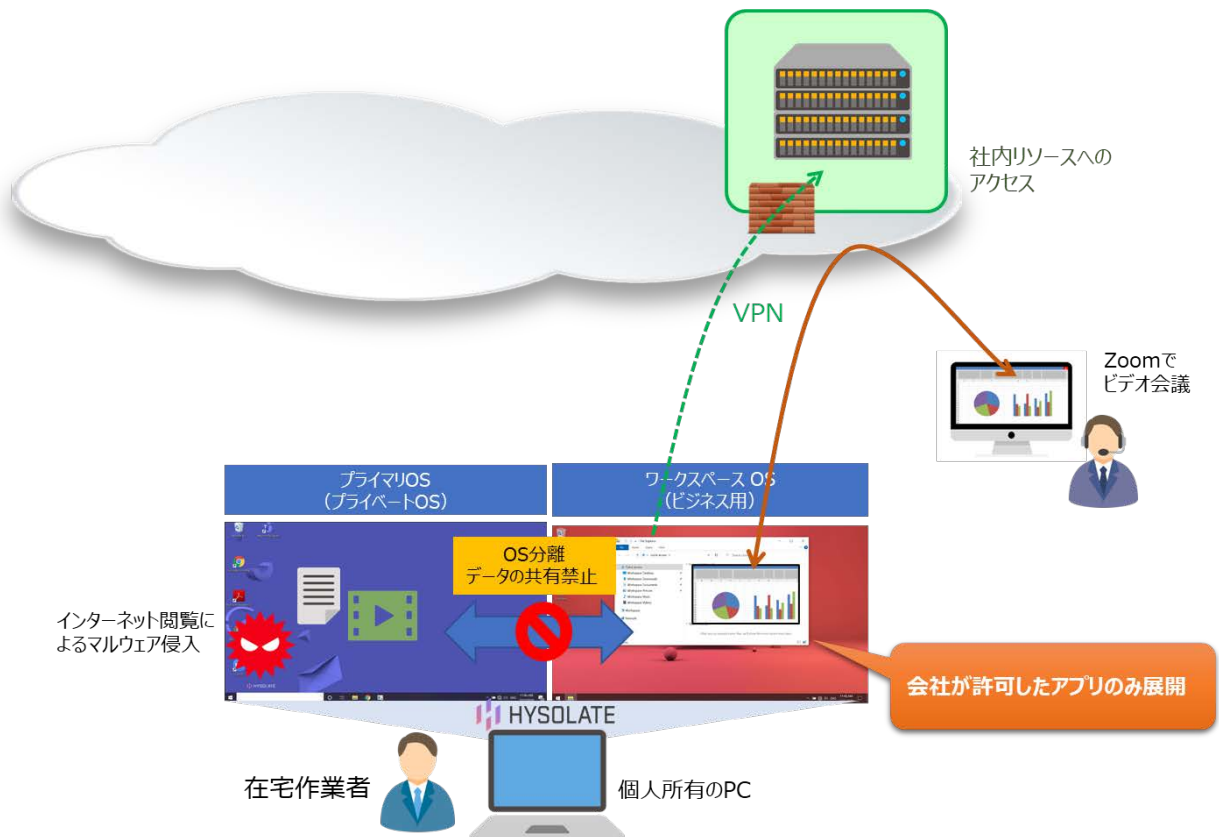
① リスクのあるインターネットアプリケーションをワークスペース OS で実行

社内リソースアクセス用の内部 OS（ホスト OS）と、インターネットアクセス用の外部 OS（ワークスペース OS）を分けることで、テレワーク端末経由での基幹システムへのセキュリティ侵害を防止します。



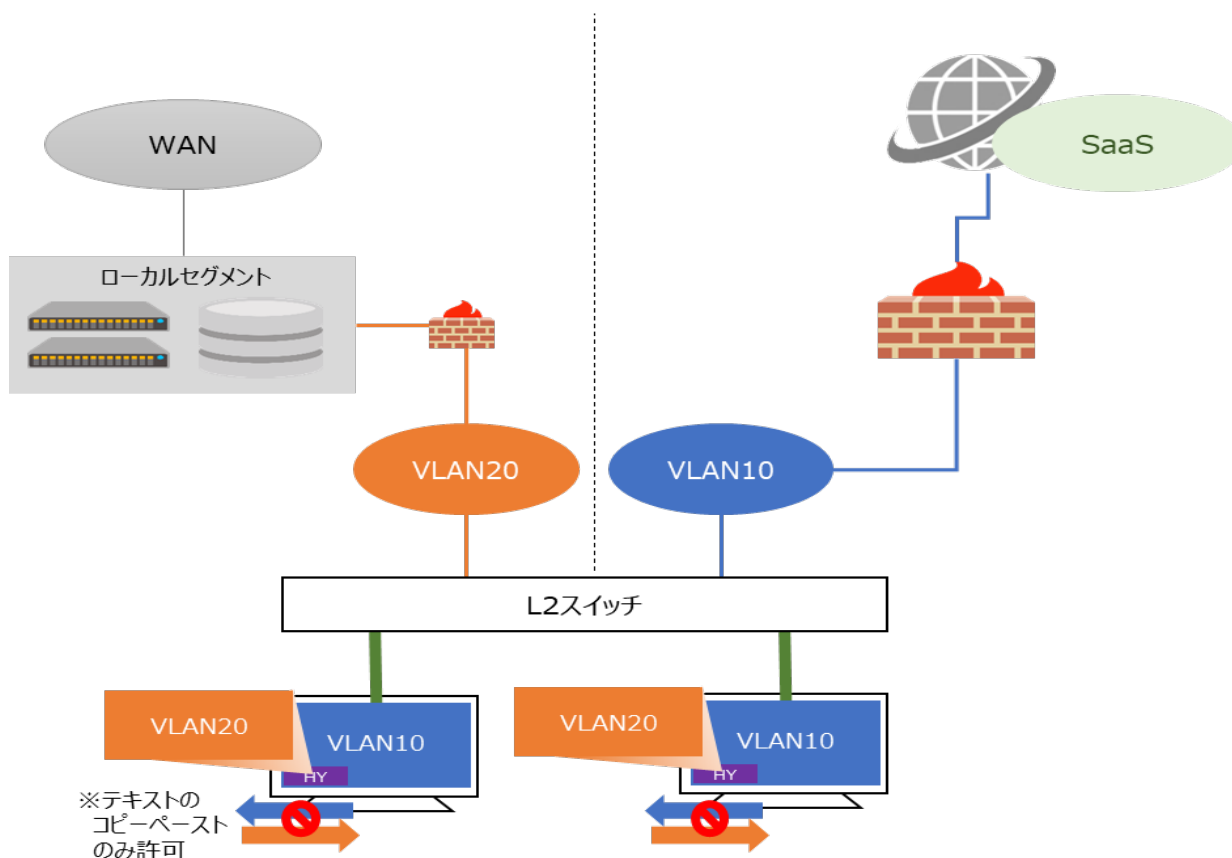
② BYOD でのテレワークのセキュリティ維持に

個人所有の PC に Hysolate Workspace を用いて、ビジネス用のワークスペース OS を展開できます。ワークスペース OS にはクラウドの管理コンソールで定義した業務に必要なアプリケーションをあらかじめインストールして展開できるため、簡単にテレワーク環境への移行が可能です。



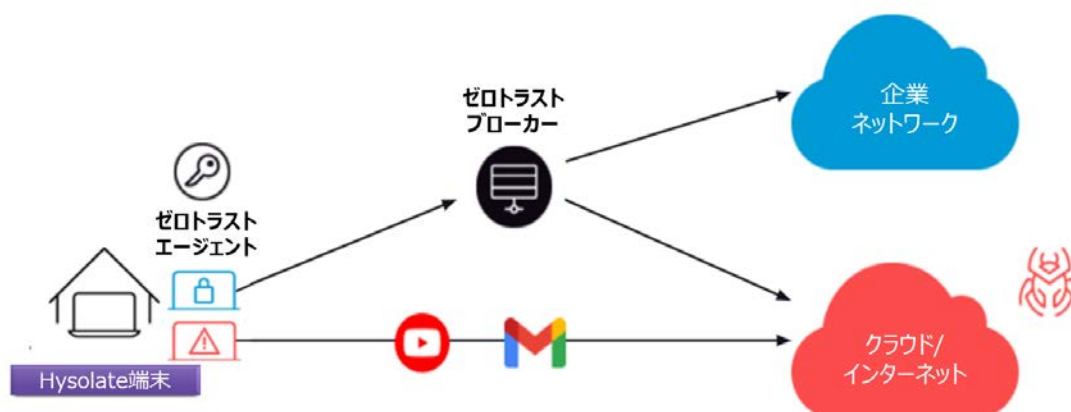
インターネット分離環境に

1 台の P C を専用 WAN 用とインターネット用とで O S を分けることにより、他のソリューションでは実現できないネットワーク分離と OS 分離の両方を実現できます。



【ゼロトラストアプローチ】

ゼロトラストに求められる信頼されたクリーンなデバイスからの接続を実現でき、さらにレガシーアクセスが必要なアプリの実行、端末からのインターネットブレイクアウト※¹が可能になります。



※ 1 特定のアプリケーション通信を、企業ネットワークを経由させずに直接インターネットに接続させる仕組み

【ソリューション比較】

	HYSOLATE	VDI/SBC	DaaS	アプリケーション ラッピング	仮想ブラウザ	ホスト型 ハイパーバイザ
端末	ファット	シンククライアント	シンククライアント	ファット	ファット	ファット
セキュリティ	◎	○	○	△ 一部アプリのみ隔離	△ ブラウザ限定	△
パフォーマンス	◎	△	△	○	○	○
操作性	◎	△	△	○	○	△
コスト	◎	△	○	◎	◎	◎
課題	-	感染端末からの接続リスク オフライン環境での操作	アプリ利用やデバイスの制限 インターネット回線速度 レスポンス	ホストOSのセキュリティ アプリケーションの安定動作	OSセキュリティ 新しいウェブアプリへの対応 ホワイトリスト運用	端末のパフォーマンス ホストOS感染時のリスク

※コストや評価については弊社基準となります。ご導入される環境や規模によって変動する場合がございます。

【動作環境】

ハードウェア：メモリ 8 GB 以上、SSD（10 GB 以上）

CPU：Core i5 以上（推奨）

対応ゲスト OS：Windows 10 64-bit

【アズジェントの販売】

製品価格はオープンプライス※2、初年度 5 億円の販売を目指します。

※2 参考価格（税抜） 1 ユーザあたり年間約 1 万 2000 円～（5000 ユーザの場合）

【アズジェント会社概要】

会社名：株式会社アズジェント（Asgent, Inc.）
 所在地：〒104-0044 東京都中央区明石町 6-4
 代表取締役社長：杉本 隆洋（すぎもと たかひろ）
 TEL：03-6853-7401（代表）
 資本金：7 億 7,111 万円
 取引銀行：みずほ銀行、三井住友銀行 他

【記事ご掲載の際の読者からのお問い合わせ先】

株式会社アズジェント

〒104-0044 東京都中央区明石町 6-4

TEL：03-6853-7402 E-mail：info@asgent.co.jp URL：https://www.asgent.co.jp/

【報道資料についてのお問い合わせ先】

株式会社アズジェント 広報担当 横田 TEL：03-6853-7417 E-mail：yokota@asgent.co.jp

※ 文中に記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。